ファシリテーターから神戸市に質問がありました。（第５回ワークショップ）

これまでのワークショップを通じて、ファシリテーターが疑問に感じている内容を、神戸市に質問しました。

Q1. 鶴甲会館は、「地域のコミュニティ施設」なの？　それとも「文化施設」なの？

Ａ１．鶴甲会館は神戸市が団地整備に合わせて、団地住民の福祉と文化の向上を図ることを目的としたコミュニティ施設として整備しました。基本的に団地住民の方が中心に利用いただく「コミュニティ施設」と位置付けています。
コミュニティ施設は多目的な利用が考えられ、住民の文化活動など様々な地域活動の場として利用する中で、地域外の方と一緒に利用されることがあることも認識しています。

Q2. テニスコートはどうなるの？

Ａ２．テニスコートは会館の付帯施設として整備したもので、団地住民の健康増進を図るための「レクリエーション施設」として設置しています。現在、利用率は全体で約５割ですが、利用申込み者の内訳を見てみると、団地の方の利用は14％程度となっています。今回の会館の再整備に合わせて、テニスコートのあり方についても今後、検討を進めていきます。

Q3. 今後の予定は？

Ａ３．今後の予定は以下のような流れで進めていきます。

今後のスケジュール

① 整備方針案
↓
② ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ参加者への説明
↓
③ 住民説明会

ワークショップなどで頂いた意見等を踏まえながら、神戸市（みなと総局）で会館再整備の方針案をまとめていきます。

整備方針案については、ワークショップに参加いただいた皆さんにご説明させていただき、その後、鶴甲団地にお住まいの皆さまを対象とした説明会を開催いたします。

開催時期は、12月後半を予定しています。

ファシリテーターからのコメント

第５回は、これまで４回のワークショップの総まとめ的な意見交換会となりました。現在の会館のスペースを再吟味し、「森崎私案」のボリュームプランを提示させて頂きましが、この「案」はあくまで、再整備するとしたらどれくらいの規模の建物になるかのシミュレーションにすぎませんので、「夢」のあるプランではありませんでした。今後、住民の皆さんが維持管理していくことや、併設する可能性のある機能も勘案して、更なる検討をしていく際の材料となればと思います。

とりわけ、改修か建替えかの方針が定まっていない状況のなかでは、意見や議論がリアリティを持ちません。それらの方向性を決めるための検討の必要性を感じました。

はっきりしたことは、地域のコミュニティ施設としては、アクセスに課題があるということと、管理の観点からは、現在の施設規模はやや大きすぎるということではないでしょうか。

私自身、鶴甲団地及び会館のことを熟知していた訳ではなかったのですが、１～５回のワークショップの中で、回を重ねる毎に少しずつわかって来たことがあります。それは、地元住民組織（自治会やふれまち協など）間及び、住民間が１枚岩ではなく、様々な意見や想いがあるということです。特に鶴甲団地では、このことが他の団地に比べて強く感じられました。

今後、住民間はもちろんのこと、みなと総局とも意思疎通を図られ、同じ方向に向かった「結論」を導きだされますことを切に望んでおります。

お問い合わせ先（事務局）
神戸市みなと総局経営企画部分譲推進課管理係【鶴甲ワークショップ担当】
TEL:078-322-5704/FAX:078-322-6135

第４号

鶴甲会館リニューアル通信

発行日/平成27年10月30日
発行/神戸市みなと総局
意見取りまとめ・発行協力/森崎建築設計事務所

「鶴甲会館ワークショップ」が最終回を迎えました

鶴甲会館を、今後のまちの活性化につながるコミュニティ活動の拠点としていくために、団地に関わる様々な方々に会館の将来像について話し合っていただく「鶴甲会館ワークショップ」の**第5回（最終回）**が、平成27年9月27日（日）、鶴甲会館にて開催されました。

当日は、25名の方にご参加いただき、**「鶴甲会館をより良くしていくために」**というテーマで話し合いました。ファシリテーター（進行役）の森崎先生による進行のもと、参加者の皆さんからは、最終回ということもあり、多くの意見が出されました。

７月から計５回開催しましたこの「鶴甲会館ワークショップ」には、延べ133名の地域の方にご参加いただき、鶴甲会館、鶴甲団地について様々なご意見をいただくことができました。

ご参加いただいた皆さまには、あらためてお礼申し上げます。

今後はこのワークショップで話し合われたご意見などを踏まえながら、神戸市にて、鶴甲会館再整備の方針案をまとめていきます。

第５回プログラム

1.ワークショップの進め方
2.前回の振り返り
3.グループ討議
4.各グループからの発表
5.ファシリテーターからの質問

－－－－－－－－－－－－－－－－－－

・事務局より今後の予定の案内など

第5回の内容は・・・

第５回は、前回話し合った「会館での活動に必要なスペース」のご意見を参考に、ファシリテーターが私案として、必要と思われる施設規模のイメージを紹介しました。

その後、第１回～４回のワークショップを振り返り、「鶴甲団地、鶴甲会館をより良くするためには」というテーマで、グループごとで話し合いました。

後半は、ファシリテーターが感じている疑問について、神戸市が回答し、全５回のワークショップが終了しました。

最後に市議会（９月17日　陳情）の報告や、鶴甲会館再整備のスケジュールについて説明がありました。

第5回ワークショップでは次のような意見が出されました。

「鶴甲団地・鶴甲会館をより良くするためには」

- 若年層、ファミリー層を団地に呼び込む工夫が必要。
- 会館の再整備に併せ児童館の機能を取り込む。
- 会館の再整備の場所に応じて機能を考える。
（県警宿舎に移転の場合⇒地域住民のための施設／
現地で整備の場合⇒団地外の人の利用を見込んだ充実した施設）
- 開放的で自然環境の良い現在の会館の場所を住民のために残す。
- 建て替えでなく、現施設のＰＲ等による活性化。　など

「その他の意見」

- 住民の高齢化により利用者が少なく、本当に住民が必要としているのか疑問。
- 会館存続の署名数の重みを考えて今後の検討を。
- 鶴甲会館は地域のコミュニティ施設ではない。文化施設である。

これまで（計５回）のワークショップで話し合われた、参加者の主な意見を紹介します。

ワークショップでは、参加者の皆さんから多くのご意見をいただきましたが、ここではその中の主だったご意見を、話し合っていただいた流れに沿って、まとめています。

まち（鶴甲団地）に関する意見

どんなまちを目指したいか

- 子供から高齢者まで、住みやすいまち。
- 鶴甲銀座(コープ周辺)を活性化。
- 鶴甲会館を拠点に地域がつながるまち。
- 集合住宅の改造、建替えによるまちの若返り、活性化。
- 豊かな自然を維持していく。

環境について

良いところ

- 治安が良い。
- 景色が良い。
- 自然が豊か。
- 交通の便が良い（バスが２系統ある）。
- 子育てに適している。

良くないところ

- 大型車の排気ガスや騒音。
- 医療機関が少ない。
- 交通の便が悪い。
- 買い物が不便。
- 団地にエレベーターが無い。

コミュニティについて

良いところ

- ふれまちの活動が盛ん。
- 地域の人々の緩やかなつながり。
- 子供に地域の目が行き届いている。
- 多様な年代構成。
- 神戸大学との交流がある。

良くないところ

- 地区内の子供が減っている。
- 住民の高齢化。
- 自治会活動の機能低下。
- 若い人の地域活動への参加が少ない。

鶴甲会館に関する意見

鶴甲会館の抱えている課題

建物・立地に関する課題

- 老朽化と共に、耐震性能も不足している。
- 会館へのアクセスが悪い。
- 前面道路が危険。
- 歩道橋は高齢者等にとっては利用し難い。
- 土砂災害の危険がある。

管理運営に関する課題

- 利用率の低下。
- ロビーが活用されていない。
- 広報活動が不足している。ＰＲ不足。
- 会館主体のイベントなどがない。
- 高齢者向けの教室やサービスが少ない。
- 夜間など柔軟な利用ができない。

課題解決に向けた意見・アイデア

老朽化・耐震性能不足・アクセスに対して

- 耐震改修する。
- 現地で建て替える。
- 団地の中心付近に移転できないか。

アクセスの改善

- 歩道橋にエレベーターを設置。
- 信号機、横断歩道の設置。

過去に、警察にも相談したが難しそう・・・

土砂災害への対策

- 駐車場あたりに砂防施設を造る。
- 土砂災害は、国や県が対策してくれるだろう。

より管理しやすく、利用しやすくするために

- 利用率を考えると、規模の縮小もやむを得ない。
- ＰＲと新たな企画や機能で人を呼び込む。

現地で整備

- 今の建物を耐震改修する。又は、現地で建て替え。
- 今の会館を耐震改修をするのが、お金もかからない。
- 鶴甲会館の立地は自然も近く恵まれており、現地で存続してほしい。

団地内側へ移転

- 団地の外周道路を渡らなくても行けるところに移転。
- 児童館と共に鶴甲の中心付近に移転する。
- 県警待機宿舎の場所に移転すれば、会館の課題はほとんど解決するのでは。
  小学校や、地域福祉センターも近くて良い。

民間の力を活用

- 分譲マンション等と併設して建て替え、その売却益でアクセスなどの課題へ対応する。

規模を縮小できる

- 今の2/3程度の規模にできる。（洋室(大中小)、和室(大中小)、特別室）
- 今の半分で十分。（板間の大部屋×2、和室、パーティション付の教室×2）
- ３階を撤去して、２階建てにする。

今の広さが必要

- 今の広さを維持すべき。
- 規模縮小はいかがか、今のままで良いのでは。

新たな機能を入れる

- コンビニが必要。
- 児童館など子育ての場。
- 喫茶、軽食コーナー。
- など

PR・企画

- ホームページを作成、ネットで利用申込みを出来るように。
- チラシなどでイベントを告知。
- バス停の名前を「鶴甲会館前」に変更しＰＲ。
- 月に１回食事会の開催を。
- 地域福祉センターでの活動を持ち込む。
- など

誰が管理運営するのか

- 地域でゆるやかに管理できないか。
- 行政がもっと地域の声を聞いて運営を。

地域で管理運営

- 住民主体の運営委員会を設置する。
- ＮＰＯ法人を立ち上げ、市から委託を受けて運営する。

行政が管理運営

- 今まで通り行政（ＯＭこうべ）が運営。
- 今の規模の建物を、地元管理と言われても難しい。

役割分担して管理運営

- 集会所機能は地域が、文化スポーツ施設の機能は行政がそれぞれ運営。